

人 チーム 制度



来日8年目のベトナム人技術者！
勉強・仕事と子育ての両立には、思いもよらぬ苦労が...

(株)長大 Le Quynh Nga さん

今回ご紹介するのは(株)長大で東南アジアにおける事業企画に携わる Le Quynh Nga さん。日本人とは異なる目線から、子育てと仕事についてお話いただきました。

プロフィール

氏名 : Le Quynh Nga
所属 : (株)長大 事業企画部
勤続年数 : 3年目
資格 : 博士
居住地 : 埼玉県
家族構成 : 夫/長女
勤務状況 : 制度の利用なし

これまでの経歴を簡単に教えてください。

ハノイ建設大学にて水の供給と衛生について勉強した後、3年間ベトナムで社会人として働き、その後日本で水質環境についてなど勉強し修士・博士を取得しました。そして(株)長大に入社し、現在は事業企画部のエコロジカルサニテーションのグループに配属され、ベトナムやタイなどの排水処理、土壌処理、農業などのプロジェクトに携わっています。

プライベートでは、2008年に結婚し2009年12月にベトナムで娘を授かりました。そして2011年に夫と娘が来日しました。

なぜ日本で働き子育てをすることに決めたのですか？

私は日本の大学院を修了したので、日本の企業で働くほうが大学院で学んだことを実際の仕事に活かしやすと考えました。またベトナムと比べて福祉や教育制度などが充実し、娘を育てる環境がよいと考えたのも理由のひとつです。

日本で子育てをする上で驚いたことや困難に直面した時のエピソードはありますか？

家族が初めて来日し娘の幼稚園に応募しようとしていた時のことです。私は大学院では英語で勉強していたため最低限の日本語しか分からず、入園許可をもらうための情報収集にとっても苦労しました。当時は修士2年で次期からは博士課程に進むという時であったため、娘が幼稚園に入園することができなければ、十分に研究の時間が取れなくなる恐れがありました。研究室長も応募に手を貸して下さり、最終的には研究室のメンバーに支えてもらいながら、キャンパスから遠くはなれた場所にある幼稚

園の空席に応募することになりました。そしてついに入園許可をいただき、修士の最終学期の初めに引越しをしました。

仕事と家庭を両立するために必要だと思うことを教えてください。

大事なのは、我々自身が家族と過ごす時間をどれだけ重要かと考えているかです。もしも子どもや家族と共に過ごすことが最も重要で他の何事にも置き換えられないと考えるのであれば、必然と家族と過ごす時間を十分にするために動くでしょう。

次に大事なことは極力残業しないための時間管理と業務の効率化です。

今後子育てを始める方へのメッセージをお願いします！

子どもは私達が人生で授かる最も尊い贈り物です。特に女性にとっては、妊娠や子育てはとても苦労の多い時期でもありますが、子どもがもたらしてくれる幸せに勝るものはありません。また子育てをしながらでも、計画性を持って時間管理をすれば働き続けることは可能です。



ある1日のスケジュール

6時30分	7時00分	8時00分	9時15分	17時40分	19時00分	22時00分	23時40分
起床	娘が登校 出社の準備	家を出る	勤務開始 集中!	勤務終了	帰宅 娘の宿題等対応 夕食・荷物片付け	お風呂など自分のこと	就寝

2018.11 文責：小岩 千紗